

# 老年病センターだより

臨時号

## 水の安心・安全



平成21年6月26日金曜日より、飯能老年病センターでは院内の「水の安心・安全」を確保するため、『水質自動監視装置』を導入いたしました。

飯能老年病センターでは、地下資源の活用と水の安定確保を目的として、敷地内に地下220mの深井戸を掘り、平成17年9月より市水と共用で院内全ての水に利用しています。

地下からの取水を始めて以来、水質に問題は発生しておりませんが、将来の安全性を考え、国内の水道局を中心に導入が進められている魚類を用いた水質自動監視装置を導入いたしました。



水質自動監視装置の検出方式は画像解析で、内部の飼育水槽で泳いでいる魚約20匹をカメラで撮影し、その動きを監視しています。

水槽内に有害物質を含んだ水が流れ込むと段階的に警報を発信し、最終的には「異常」警報が発せられます。

異常警報時には給水を停止し、さらに毒物の特定などの分析に用いるサンプル水を自動採水する機能を備えています。

(ホームページ担当委員 須波)